簿記原理Ⅱ

科目ナンバリング ACC-102
選択必修 2単位

塚原 慎

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、簿記原理Ⅰに引き続き、実際の企業活動を意識した、財務諸表作成のための簿記を理解します。

2. 授業の到達目標

商業簿記に関する基礎的な知識を習得し、企業活動を理解することができるようになることです。

3. 成績評価の方法および基準

原則、期末試験の評点により判断しますが、平常点(講義への出席態度や課題等の提出状況)も加点要素となります。

4. 教科書・参考文献

教科書

新田忠誓他 『エッセンス簿記会計』(最新版) 森山書店

参考文献

新田忠誓監修 『全経 簿記能力検定試験 公式問題集 3級』 ネットスクール出版

5. 準備学修の内容

講義資料をLMSにアップロードしますので、講義の際は各自これにアクセスできるようにしておいてください(印刷して持参することが望ましいです)。資料はこちらから印刷して配布することはありませんので、ご注意ください。

6. その他履修上の注意事項

毎回、電卓とノートを用意してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 講義の進め方、成績評価の方法について説明します。
- 【第2回】 簿記原理Ⅰの復習を行います。
- 【第3回】 現金預金取引と現金出納帳・当座預金出納帳について説明します。
- 【第4回】 商品売買取引と売上帳・仕入帳について説明します。
- 【第5回】 商品有高帳の作成方法について説明します。
- 【第6回】 売上原価の計算方法について説明します。
- 【第7回】 掛取引と売掛金元帳(得意先元帳)・買掛金元帳(仕入先元帳)について説明します。
- 【第8回】 手形取引について説明します。
- 【第9回】 貸倒れの会計処理と貸倒引当金について説明します。
- 【第10回】 有形固定資産の取得と減価償却について説明します。
- 【第11回】 収益・費用の見越しと繰延について説明します。
- 【第12回】 損益勘定(損益計算書)と残高勘定(貸借対照表)の作成について説明します。
- 【第13回】 8桁精算表の作成について説明します。
- 【第14回】 証憑と伝票制度について説明します。
- 【第15回】 本講義の総括を行います。